

北区

テーマ

北区の豊かな自然環境を守るために、いま私たちができること

自然を守る特色あふれる活動についての報告がなされ、区民の皆さんの自然への愛着と熱意が伝わるタウントークとなりました。

北区タウントークメモ

- 実施日/11月26日(土)
- 会場/拓北・あいの里地区センター
- 参加人数/約100人
- 発言者数/9人



目指すは"緑園都市" みんなに愛されるまちに

あきやま
新琴似六番通街づくりクラブ **秋山さん**
景色の良いまちになれば、地域がみんなに愛され、住民の交流も深まると思い、活動を始めました。屯田防風林を軸に地域を緑で囲い、大きな庭園のようにする構想を描いており、市の道路拡幅計画に携わって多くの提案をしています。先人たちのように、次の世代へこの豊かな緑を残していきたいです。



地域にある水と緑を大切にしたい

いずみ
ホツしほのろ21 **泉さん**
篠路周辺には、篠路五ノ戸の森緑地や百合が原公園、それらを結ぶ旧琴似川があります。これらの豊かな自然にまつわる歴史や生態を冊子などにまとめて地域に配布しています。また、小学校の総合学習などを通じて、子供たちに自然について考えてもらうための活動も積極的に行っています。



貴重な篠路福移湿地を将来の子供たちに残したい

わたし
カラカネイトンボを守る会 **綿路さん**
篠路福移湿地は、希少な動植物が多数生息する、大昔からの状態を残した貴重な自然です。しかし、近隣の埋め立てなどの影響からか、湿地が干からび、存続が危ぶまれています。



おおやま
貴重な湿地を守り、子供たちへと残していくために、生物たちを茨戸川に移しているほか、地権者の方の協力を得て湿地の管理をさせてもらうなどの活動をしています。



市長から 地域を見つめ、自然を守り、そのことがまちへの愛着につながる、素晴らしい活動ですね。子供と大人双方が役割を果たしながら、住民自らの手で地域をつくりあげていこうとする考え方は、まちづくりに欠かせないものです。ぜひこうした取り組みが全市へと広がってほしいと思います。

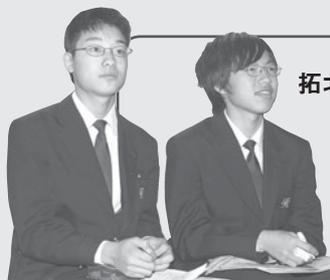
こんな活動をしています

倒木を利用した樹名板(樹木の品種名を記した板)を樹に取り付ける北区「この木なんの木」プロジェクト。市ではこうした緑と親しむ取り組みを支援しています。



ホツしほのろ21の皆さんも参加しました。

市の緑化推進の取り組みについては、ホームページwww.city.sapporo.jp/ryokukaをご覧ください。



さとう うらの
拓北高校 理科研究部 (左) **佐藤さん** (右) **浦野さん**
湿地の生態系などの研究をしています。人工的につくられた自然と違い、この湿地が壊れてしまえば、もう2度と昔の自然と出会うことはできません。ぜひ、守っていただきたいと思っています。

市長から 湿地を市で買い取り、保護してほしいとの要望書がかつていただきましたが、所有者が多数にわたるなど、多くの課題があり、市としてそうした対応はできない状況です。行政として何ができるか、皆さんとともに方策を考えていく努力をしていきたいと思っています。

